

平成 29 年 9 月 8 日
高槻市立自然博物館 あくあびあ芥川
〒大阪府高槻市南平台 5 丁目 59 番 1 号
TEL:072-692-5041 FAX:072-692-7864
(担当:高田)

企画展「高槻の空を渡るタカ」を開催します

高槻の空を
渡るタカ

2017年
9月9日(土)
～11月5日(日)

秋晴れの空を見あげてください
あなたの上をたくさんのタカが通り過ぎていきます

高槻市立自然博物館
TEL=072-692-5041 FAX=072-692-7864 E-mail=info@aquapia.net
あくあびあ芥川 **入場無料**
http://www.omnh.net/aquapia/

● 観覧時間 10:00～17:00
● 休 日 月曜日(祝日を除く) 年末年始(12/28～1/4)

● 市営バス「JR高槻駅北口」徒歩5分
「関西大学」「平安女学院大学」前「南平台小学校前」下車すぐ
● 芥川緑地駐車場:利用料金 普通自動車1時間100円
(※3時間を越えたときは400円上乗)
利用時間 8:00～18:30(8月～9月は19:30まで)

【開催期間：平成 29 年 9 月 9 日（土）～11 月 5 日（日）】

「タカ」と聞くと、山奥の自然が豊かなところにしかいないと思う人も多いでしょう。しかし、毎年春と秋に、北から南へ、南から北へと渡りをするタカの仲間がおり、渡りの途中に高槻を通過していきます。

今回の企画展「高槻の空を渡るタカ」では、鳥の渡りについての解説や、萩谷を渡っているタカの季節ごとの数の変化、その種についての紹介などをパネルで展示しています。また青空の下を悠々と渡るタカたちの写真も数多く展示しました。

これからの季節、南の越冬地へ向かうタカたちがみなさんの上を飛んでいきます。この企画展が、身近な自然に目を向けていただくきっかけとなることを願っています。



企画展全体の様子

【渡りとは？】

季節的に繁殖地と越冬地などを往復する移動のこと。南極から北極まで地球の端から端まで渡る鳥もいれば、ほんの数キロだけ渡る鳥、まったく渡らない鳥もあります。高槻では、ツバメやカモなど、たくさんの渡り鳥が見られます。

【なぜ渡るの？】

鳥にとって渡りはとても危険で、とても体力を使うもの。それなのになぜ渡るのでしょうか。

北の国では冬にはエサとなる昆虫やカエル、ヘビなどが冬眠したり数が減ってしまうので、食べ物がたくさんある南の国へ行かなくては死んでしまいます。そこで、多くの鳥が冬になる前に北から南へ渡ります。一方で夏は北へ行くほど短い期間に大量の虫や小動物が発生するので、繁殖のために南から北へ渡ります。

【タカの渡りの調査】

高槻市では 2005 年からタカに魅せられた人達が、高槻ホークス萩谷調査隊を結成し、8 月中旬から 10 月末まで、ほぼ毎日飛んでいくタカを数える調査を行っています。その結果、今まで 9 月中旬のピーク時を中心に行っていた調査ではわからなかったサシバ、ハチクマの渡りの特徴や、10 月に入ってから本格的になるノスリの渡りなどについて多くのデータが得られています。

【みどころ】

●タカ4種の実物大絵画

ノスリ、ハチクマ、サシバ、チゴハヤブサの実物の大きさがわかる絵を展示しています。地上の私たちから見えるタカたちは小さな点のように見えますが、この展示で羽を広げたタカたちの実際の大きさを感じていただくことができます。合わせて「ノスリ」「ハチクマ」などの名前の由来も解説しています。



●ハチクマの「あずみ」になって、渡リスゴロク

「あずみ」と名付けられたハチクマを人工衛星を使って、その移動の様子を調査したところ、長野県安曇野からインドネシアのジャワ島まで、9585 kmもの距離を移動していることが分かりました。このコーナーでは、「あずみ」になったつもりでスゴロクをして遊ぶことで、「あずみ」の足どりを追体験することができます。



●大空を飛ぶタカたちの写真

ノスリ、サシバ、ハチクマなどのタカが大空を飛んでいる写真を数多く展示しました。秋の空を悠々と飛ぶタカたちの姿をご覧ください。じっくり見ると、羽の模様や尾羽の形の違いなどで、一羽一羽の個性が見えてくることでしょう。



●タカの仲間のはく製

あくあぴあは、関西地域の博物館の中で、鳥のはく製の展示数が最も多い博物館です。企画展コーナーのすぐとなりの常設展に、11種18点のタカの仲間のはく製を展示しています。それぞれのタカの大きさや体の模様の違いなど、じっくりご覧ください。



※企画展内にタカの渡りを観察中の「鷹渡見蔵（たかのわたりみるぞう）」くんがいます。
びっくりしないでね。



◆関連イベント

【子どもワークショップ：とりのくちばし とりのごはん】

日時：9月16日（土）、17日（日）、10月14日（土）、15日（日）

時間：10：45、11：30、13：30、14：15、15：00（1日5回）

場所：あくあぴあ2階展示室

定員：1回8名

対象：4歳以上の人にぴったり（未就学児は保護者と一緒に参加）

受付：当日会場にて受付

【主催】

高槻市立自然博物館 あくあぴあ芥川

【協力】

高槻ホークス萩谷調査隊

タカの渡り全国ネットワーク

高槻市立自然博物館 あくあぴあ芥川 基本情報

○名称 高槻市立自然博物館 あくあぴあ芥川（平成27年4月1日より名称変更しました）

○開館時間 10:00～17:00

○入館料 無料

○休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌平日に休館）

○駐車場 芥川緑地駐車場 8:00～18:30（6月～9月は19:30まで）

1時間100円（1日最大400円）

○交通 JR高槻駅より市営バス 北5番のりば「関西大学」「平安女学院東」行き 乗車約15分「南平台小学校前」下車すぐ

○所在地 〒569-1042 大阪府高槻市南平台5-59-1

○電話 072-692-5041

○FAX 072-692-7864

○ホームページ

http://www.city.takatsuki.osaka.jp/rekishu_kanko/kanko/aquapia.html

○ブログ <http://www.omnh.net/aquapia>

○E-mail info@aquapia.net

○指定管理者 あくあぴあ芥川共同活動体（NPO法人芥川倶楽部、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター）